

令和2年度 東小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

○教育目標 心身ともに健康で、創造力、実践力に富み、自主的精神に満ち、国際社会に貢献できる個性豊かな日本人を育成する。

○目指す児童像

なかよく	かしこく	たくましく	がんばる
豊かな心をもち 思いやりのある子	自ら考え 進んで学ぶ子	素直で明るく 健康な子	気力をひめ、 精いっぱいがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「一人を大切にする」及び「多様性と人権を尊重する」を学校経営の基盤に据え、学校・家庭・地域が一体となって「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わえる学校」を目指す。スローガンを「笑顔が輝き、笑顔がつながる東小」とする。

「一人を大切にする」及び「多様性と人権を尊重する」を学校経営の基盤とし、学校が主体となり、家庭や地域社会の教育力を活用して、子供たちが、互いに尊重し合い、共に学ぶ楽しさや共に伸びる喜びを実感できる、活気にあふれ、創意工夫のある、地域に開かれた魅力ある学校づくりを推進する。また、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築を推進するとともに、学校は保護者や地域から信頼され、教職員は頼られ、子供たちは夢や希望をもって共に意欲的に学び、誰もがやりがいを感じながら明るい笑顔で共に伸び伸びと生活できる楽しい学校づくりを通して、学校・家庭・地域に笑顔の輪が広がることを目指す。

（目指す学校像）

（目指す教師像）

- きまりを守り、活気あふれ笑顔が輝く学校
- 学ぶことを大切にし、子供と教師が共に育つ学校
- 地域と共に歩み笑顔がつながる学校

⇔

- 使命感と教育愛にあふれた指導力のある教師
- 子供に寄り添い、共に学び共に伸びる教師
- 子供・保護者・地域から信頼される教師

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）持続可能な学校指導・運営体制の構築「働き方改革の推進」

①勤務時間を意識した働き方の推進 ②校内業務の適正化・効率化 ③保護者や地域の教育資源の有効活用

（2）「豊かな心」の育成…学校づくりの視点①「よさを認め、励まし伸ばす指導の充実」

○①互いのよさを認め合い、共に伸びる喜びを味わえる学校づくり ②基本的な生活習慣の育成

③規範意識の醸成 ○④人間関係力・社会性の育成 ⑤児童指導・教育相談・特別支援教育・いじめ対策の充実

（3）「確かな学力」の育成…学校づくりの視点②「共に学び、楽しく分かる授業の推進」

①主体的に取り組み、共に学び、楽しく分かる授業づくり ②思考力・表現力を伸ばし、高める指導の工夫

③基本的学習態度と基礎・基本の確実な定着 ④読書活動の充実 ○⑤家庭学習の定着・充実

（4）「健やかな体」の育成…学校づくりの視点③「たくましく生きる力を育む指導の充実」

①自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり（体力の向上と健康教育の推進）

②安全指導の強化・徹底 ○③望ましい食習慣の向上

（5）「強い意志力と実践力」の育成…学校づくりの視点④「達成感を実感させる指導の工夫」

①愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくりの推進 ②特色ある学校づくりの推進

（6）「家庭との連携」の推進…学校づくりの視点⑤「家庭とつながる学校づくりの推進」

①家庭と協働して子供を育む教育活動の推進 ②開かれた学校づくりの推進（情報発信の充実）

（7）「地域との連携」の推進…学校づくりの視点⑥「地域とつながる学校づくりの推進」

①地域と協働して子供を育む活動の推進 ②陽北地域学校園における小中一貫教育の充実

【陽北地域学校園教育ビジョン】 学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園

4 教育課程編成の方針

（1）日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領等の教育関係諸法令、並びに栃木県及び宇都宮市の教育委員会の学校教育推進の方針及び指導の重点、第2次宇都宮市学校教育推進計画、第2次宇都宮市学校教育スタンダード等の示すところに従い、本校の教育目標の達成を期するように編成する。

（2）児童の発達段階や各教科等の特性、学習指導要領の趣旨を生かして、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かで自ら学び考えるなどの「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。

（3）本年度の学校教育目標、学校経営の方針、努力点や具体策、学校課題の具現化を図るとともに、家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を生かした教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

「一人を大切にする」及び「多様性と人権を尊重する」を基盤に据え、学校・家庭・地域が一体となって、「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わえる学校」を目指す。スローガンを「笑顔が輝き、笑顔がつながる東小」とする。

【学 習 指 導】

「共に生きる力を育む～共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わう学級集団づくり～」

【児 童 生 徒 指 導】

「基本的生活習慣を身に付け、互いに協力し合う、心豊かな児童の育成」

【健康（体力・保健・食・安全）】

「自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成」

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価												
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 児保「児童は、授業中、話をしっかり聞いたり、発表したりするなど進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児保 肯定的回答 80%以上	① 授業のめあてを確認・提示したり、 <u>学びあいの場を設定・工夫</u> したりして、進んで学習に取り組める学習活動の工夫・改善に努める。 ② 見通しをもって学習や活動を進めさせたり、 <u>発表や話し合い活動の場を意図的に設定</u> したりして、積極的に授業に関わるような場面を設ける。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>91.2</td><td>92.6</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・すべての対象で目標値を上回った。 ・授業の中で意図的に学び合いの場を設定したことにより、聞く姿勢が定着した。 【次年度の方針】 ・学校課題「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わう学級集団作り」の研修を深めることで、一人一人の児童が主体的に取り組む、共に学び合い、楽しく分かる授業づくりにつとめる。		児童	保護者	地域	肯定的回答	91.2	92.6		目標値	80%以上		
		児童	保護者	地域												
肯定的回答	91.2	92.6														
目標値	80%以上															
A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 児保地「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児保地 肯定的回答 90%以上	① 道徳、学級活動、帰りの会の「ほめほめタイム」などを通して、互いのよさを認め合う心を育てる。 ② 異学年間のふれあいの充実を図るために、学校行事・児童会・キッズタイム等の活動を工夫する。 ③ Q-U（3年生～6年生）及びアンケート（1年生、2年生）をもとに教育相談を実施し児童の考えや悩みを適切に捉え、指導にあたる。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>87.3</td><td>90.8</td><td>94.4</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・保護者・地域共に肯定的回答は目標値を達成できたが、昨年度と比較すると地域の肯定的回答がやや下回った。 ・道徳、学級活動、帰りの会の「ほめほめタイム」などを通して、互いのよさを認め合うことの大切さを継続的に指導してきた。 【次年度の方針】 ・道徳、学級活動等を中心に誰に対しても思いやりの心をもって接することができるよう互いのよさを認め合う大切さを指導していくとともに、異学年交流の活動を通して実践したり、Q-U やアンケートを通して子供たちの実態を適切に把握した上で継続的に指導にあたったりしていく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	87.3	90.8	94.4	目標値	90%以上			
	児童	保護者	地域													
肯定的回答	87.3	90.8	94.4													
目標値	90%以上															

A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 児保地「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児保地 肯定的回答80%以上	① 基本的な学習態度の習慣化を図るため、<u>地域学校園の学習時のきまり「準備・着席・よい返事」の推進を図る。</u> ② 児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めるため、「ひがしの子のやくそく」の推進を図る。また、教職員間で共通理解を図る。 ③ 生活目標の確認と振り返りをくり返し行い、児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めていく。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>81.7</td><td>87.9</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童・保護者・地域の肯定的回答は、目標値を上回った。 ・全校体制で地域学校園の学習時のきまり「準備・着席・よい返事」と「ひがしの子のやくそく」を継続して指導してきた。 【次年度の方針】 ・地域学校園の学習のきまり「準備・着席・よい返事」や「ひがしの子のやくそく」から重点項目を絞って継続して指導していく。 ・週番からの生活目標の確認と振り返りを繰り返し行うことで、児童一人ひとりのきまりやマナーに対する意識を高めていく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	81.7	87.9	100	目標値	80%以上		
				児童	保護者	地域									
			肯定的回答	81.7	87.9	100									
目標値	80%以上														
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 児保地「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児保地 肯定的回答80%以上	① <u>陽北中学生徒会と連携し、児童会を中心としたあいさつ運動を定期的に実施する。</u> ② ふりかえりカードを実施し、親子であいさつについて考える機会を設ける。(長期休業時) ③ 生活目標に、あいさつに関する具体的なめあてを取り入れる。	A	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>91.9</td><td>81.4</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童、保護者、地域の肯定的回答は、目標値を上回った。 ・道徳等の授業の中で、あいさつや言葉づかいについての題材を取り上げ、児童への啓発を行った。 【次年度の方針】 ・下校指導の折に先生方からあいさつする際、具体例を示しながら気持ちの良いあいさつについて継続して指導していく。 ・陽北中と連携し、あいさつ運動を定期的に実施し、あいさつへの意識をさらに高めていく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	91.9	81.4	100	目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域												
肯定的回答	91.9	81.4	100												
目標値	80%以上														
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 児保「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児保 肯定的回答80%以上	① 教科学習や特別活動等の様々な場面で、児童一人一人にめあてを持たせ、指導し、それを評価させたり称賛しあったりして、最後までがんばる心を育てる。 ② 校内百人一首大会・ドッジボール投げリレー大会・長なわ跳び大会等の場を活用して、めあてに向かって努力し最後までがんばる心を育てる。 ③ 児童一人一人のがんばりを、保護者に理解してもらえるよう、各種たより、HP等で伝えていく。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>87.8</td><td>81.7</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童、保護者ともに肯定的回答は目標値を上回った。 ・教科学習や特別活動等の様々な場面で、児童一人一人にめあてをもたせ、指導し、そのめあてを評価させたり称賛しあったりして、最後までがんばることの大切さを指導してきたが、保護者に参観していただく機会が得られなかったことで昨年よりも児童や保護者の達成感・満足感が満たされていない様子が感じられた。 【次年度の方針】 ・学校行事等を活用して、めあてに向かって努力し、最後までがんばることの大切さを継続して指導していく。さらに保護者にも児童の頑張りや称賛・伝達するツールとしてキャリアパスポートを活用していく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	87.8	81.7		目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域												
肯定的回答	87.8	81.7													
目標値	80%以上														

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 児保地「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児保地 肯定的回答90%以上	① 「陽北地区一斉食事マナー強化月間」や給食委員会が中心となり、食事のマナーを意識づけた給食活動を推進する。 ② 児童の体力向上のために、体育の始業時に「東校サーキット（補強運動）」を全校体制で取り組んだり、各種検定（水泳・縄跳び）などを活用したりして児童の体力強化を図る。 ③ 「自分の命は自分で守る」意識を持たせ実践的な各種避難訓練を実施するとともに、地域・保護者と連携した登下校指導を行い、日々安全に気を付けた生活ができるよう指導する。 ④ 委員会活動の充実を図り、健康への意識を深める。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>92.4</td><td>95.6</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・児童、保護者、地域の肯定的回答が目標値を上回っている。 ・水泳の検定は行えなかったが、東校サーキットやなわとび検定など体力向上の取り組みを全校で行うことができた。 【次年度の方針】 ・「自分の命は自分で守る」意識を高めるため、危険を予測する力を日々の生活指導の中でつけさせていく。 ・委員会の充実を図り、健康への意識を深めていく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	92.4	95.6	100	目標値	90%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	92.4	95.6	100											
目標値	90%以上													
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 ※A 5で評価	① 一人一人が活躍できる学年・学級経営を充実させるとともに、成就感や達成感を味わえる児童会活動・学校行事を工夫し、社会に目を向け努力できるよう支援する。 ② 全校体制による百人一首の計画的な推進、縦割り班（キッズ班）活動の工夫・充実を図りながら、愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくりに努める。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>87.8</td><td>81.7</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童、保護者とも目標値を上回った。 ・6月からの学校再開でスタートが遅れ、行事の内容も制限がかかる中、各学年・学級でめあてや係を決め、児童は夢や目標をもって学校生活を送っていた。新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しながらできる範囲で校内百人一首大会や縦割り班活動を工夫し実施した。 【次年度の方針】 ・「新しい生活様式」のもと、児童が夢や希望をもって、学校生活を送れるよう、教育課程を工夫しながら特別活動や縦割り班活動を継続していく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	87.8	81.7		目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	87.8	81.7												
目標値	80%以上													
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 児教「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児教 肯定的回答80%以上	① 外国にルーツをもつ児童と児童同士、英語を使った交流が図れるよう全校体制で取り組む。 ② ALTを効果的に活用し、英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。 ③ 外国語指導教員が中心となって、校内研修を開催し、教職員の資質向上を図る。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>85.3</td><td>90</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・すべての対象で目標値を上回った。 ・外国にルーツをもつ児童や、ALTとの交流を通して、英語でのコミュニケーションに親しむ機会を設けた。 【次年度の方針】 ・外国にルーツをもつ児童と交流が図れるよう全校体制で取り組む。 ・ALTを効果的に活用し、英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。 ・外国語指導教員が中心となって、校内研修を開催し、教職員の資質向上を図る。		児童	教職員	地域	肯定的回答	85.3	90		目標値	80%以上		
	児童	教職員	地域											
肯定的回答	85.3	90												
目標値	80%以上													

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 児教保「児童は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児教保 肯定的回答80%以上	① 全校体制で校内百人一首に取り組み、「校内百人一首大会」や「うつのみや百人一首市民大会」に多くの児童が参加して、宇都宮市にゆかりの深い百人一首に親しむとともに、日本語の響きやリズムに楽しませる。 ② 生活科や社会科、わくわくチャレンジタイム（総合的な学習の時間）等で、身近な地域の良さを踏まえ、市全体の特徴を捉えられるよう学習活動を工夫していく。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>83.2</td><td>90</td><td>66</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・肯定的回答は昨年度と比較し児童、教職員、保護者のすべてで上回ったが、依然保護者の回答は低かった。生活科や社会科の市内の校外学習が実施できず、具体的な内容が伝わらなかったことも考えられる。 【次年度の方針】 ・「新しい生活様式」のもと「校内百人一首大会」や「うつのみや百人一首市民大会」に向けて、児童の意欲をさらに高める。 ・「新しい生活様式」を考慮しながら、受入れ可能な施設や文化遺産について、校外学習等で実際に見たり人と触れ合ったりしながら地域の良さを学べるようにする。 ・引き続き保護者に感染防止を配慮しながら「百人一首大会」等、宇都宮の良さを知ってもらう行事を実施していることを、学年だより等でも発信していく。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	83.2	90	66	目標値	80%以上		
	児童	教職員	保護者											
肯定的回答	83.2	90	66											
目標値	80%以上													
A 10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 児教保「児童は、ICT機器や図書室を学習に活用している」 ⇒児教保 肯定的回答80%以上	① 各教科、領域において、パソコンやインターネット等を効果的に活用した授業を継続的に実施する。 ② 担任と図書館司書が連携して学習に必要な本を用意したり、調べ学習の場を工夫したりして、児童の学びを深める。 ③ 図書館だよりで児童の読書活動の様子を紹介したり、年間3回のファミリー読書を推奨したりして、家庭との連携を図る。 ④ <u>地域学校園で図書館だよりを発行する。</u>	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>保護者</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>83.2</td><td>100</td><td>80.2</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・すべての対象で目標値を上回った。 ・担任と図書館司書が連携して学習に必要な本を用意したり、調べ学習の場を工夫したりして、児童の学びを深めることができた。 ・ICTの活用では、上学年において、国語、社会、理科等で、パソコンやインターネット等を効果的に活用した授業を実施することができた。 【次年度の方針】 ・各教科、領域において、パソコンやインターネット等を効果的に活用した授業を継続的に実施する。 ・担任と図書館司書が連携して学習に必要な本を用意したり、調べ学習の場を工夫したりして、児童の学びを深める。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	83.2	100	80.2	目標値	80%以上		
	児童	教職員	保護者											
肯定的回答	83.2	100	80.2											
目標値	80%以上													
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 ※A 2 で評価	① 「昔遊び交流会」や「学校に泊まろう」等、高齢者と触れ合う機会を設定し、交流を図る。 ② 育成会や地域協議会と連携を図りながら、児童が高齢者とともに活動する機会を増やし、高齢者に対していたわりの心を育む。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>87.3</td><td>90.8</td><td>94.4</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・コロナの影響で高齢者との取組ができなかったのも要因していると思われるが、児童の肯定的回答が、若干目標値を下回った。 【次年度の方針】 ・状況が許せば、「昔遊び交流会」や「学校に泊まろう」等、高齢者との交流を引き続き継続していく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	87.3	90.8	94.4	目標値	90%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	87.3	90.8	94.4											
目標値	90%以上													

目指す学校の姿	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 児教「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている」 ⇒児教 肯定的回答80%以上	① わくわくタイムの学習を通し、身近な自分の生活と持続可能な社会との関わりを考えさせるなどして、福祉や環境、異文化交流への関心を高める。 ② 社会科や理科、環境教育をとおして、水や電気を大切にしたり動植物を思いやりたりする心を育てる。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>教職員</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>82.7</td><td>70.0</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・教職員は、肯定的回答が下回っているが、児童は上回っている。 【次年度の方針】 ・児童が「持続的な社会」について身近な生活との関りを通して自分の問題として関心を持てるよう取り組んでいく。		児童	教職員	地域	肯定的回答	82.7	70.0		目標値	80%以上		
		児童	教職員	地域												
	肯定的回答	82.7	70.0													
目標値	80%以上															
A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教 肯定的回答80%以上	① 「ケース会議」や「校内支援委員会」を通して教職員間の情報共有を図るとともに、学級間の情報交換を密にして広く児童理解に努め、組織的に児童の支援に当たる。 ② 「定期教育相談（6・1月）」の充実を図り、児童一人一人のニーズや悩みを把握し、関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた支援を展開する。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・教職員の肯定的回答は、目標値を大きく上回った。 ・学級担任のきめ細やかな指導とともに学年・学級間の情報交換を密にすることで、さらなる児童理解につながった。そしてまた学級担任のきめ細やかな指導につながるというよい循環が生まれている。 【次年度の方針】 ・肯定的回答100%を継続していけるよう組織的に児童の支援にあたっていく。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100			目標値	80%以上			
	教職員	保護者	地域													
肯定的回答	100															
目標値	80%以上															
A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 児「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 保地「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒児保地 肯定的回答90%以上	① 教育活動全体を通して、児童に「いじめは決して許されない」ことを指導する。 ② 「いじめゼロ強調月間」（5月・9月）に設け、いじめ根絶に努めるとともに、互いに認め合う心を育てる。 ③ Q-U やアンケートをもとに教育相談を実施し、児童の悩みを適切にとらえて指導にあたる。 ④ 家庭や地域との連携を深め、児童の実態把握に努める。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>98.0</td><td>87.1</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は高いので児童には十分意識づけられている。さらに保護者・地域の肯定的回答は、昨年度よりも大きく上回った。学校だより等を通して「いじめゼロ集会」などの様子を伝えることに努めてきた。 【次年度の方針】 ・道徳の授業、いじめゼロ強調月間、いじめゼロ集会などを通して、いじめ根絶に努めるとともに、教育相談などで、いじめの早期発見と対応を全校体制で行っていく。また、スローガンを有効活用し、いじめは許さない雰囲気醸成していく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	98.0	87.1	100	目標値	90%以上			
	児童	保護者	地域													
肯定的回答	98.0	87.1	100													
目標値	90%以上															

A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 児「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれる」 教保「教職員は、一人一人の児童を大切にし、児童がともに認め励まし合う学級づくりを行っている。 ⇒児教保 肯定的回答85%以上	① 児童一人一人が存在感をもち、自己実現の喜びを実感できる学級経営を実践する。 ② 欠席状況共有シートの作成による、不登校児童・不登校傾向の児童を共有する。 ③ 担任が児童及び保護者に積極的にかかわり、普段からの信頼関係づくりに努めるとともに、SCMのサポートや子供家庭支援室、市のいきいきグループ等の関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた支援を展開する。 ④ Q-U やアンケートを基に教育相談を実施、指導にあたる。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>教職員</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>96.4</td><td>88.6</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">85%以上</td></tr></table> ・すべての対象で目標値を上回っている。 ・保護者の肯定的回答が前年度より下がった。 ・行事などが縮小されたため、保護者とのかわりが減った。 ・欠席状況共有シートの作成、共有を行うことができた。 ・こどもを語る会を行い情報の共有、配慮の必要な児童の早期発見・対応につなげることができた。 ・一人一人を大切にする学級経営を実施することができた。 【次年度の方針】 ・情報の共有をし、必要に応じた関係機関との連携を継続実施していく。 ・一人一人を大切にした学級経営の継続を行う。		児童	保護者	教職員	肯定的回答	96.4	88.6	100	目標値	85%以上		
	児童	保護者	教職員											
肯定的回答	96.4	88.6	100											
目標値	85%以上													
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 ※A13 で評価	① 日本語ボランティアを活用し、個に応じた日本語指導を充実させる。 ② 日本語ボランティアの学びが学級内で生かされ、当該児童の学校生活の充実につながるよう、担任との連携を密にする。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・目標値を上回った。 ・日本語指導教員と担任を図ることができた。 【次年度の方針】 ・日本語指導教員を活用し、個に応じた日本語指導を充実させる。 ・日本語指導教員と担任が連携を密にし、児童指導にあたる。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100			目標値	80%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	100													
目標値	80%以上													
A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 児「私は今の学校が好きです」 保地「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」 ⇒児保地 肯定的回答80%以上	① 異学年間のふれあいの充実を図るために、学校行事・児童会・キッズタイム等の活動を工夫する。 ② 児童会主催で、うつのみや元気っ子チャレンジによる、「みんなピョンピョン投げっ子隊」や「みんなピョンピョン跳びっ子隊」を行い、学級内の児童の絆を深める。 ③ 児童が楽しく生き生きと生活することができるように、水曜日にロング昼休みを設け、児童の自由遊びの時間を大切にする	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>88.8</td><td>89</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は昨年度より上がったが、保護者の肯定的回答は下がった。 ・すべての対象では目標値を上回っている。 ・コロナの影響により、児童が十分にすべての行事で思うように活動できない時期があったため、保護者に学校の様子が伝わりづらかった。 【次年度の方針】 ・学校の取り組みを保護者や地域に知ってもらう。学校だよりもHPを見ていただくように記載する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	88.8	89	100	目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	88.8	89	100											
目標値	80%以上													

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 児「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 保地「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細やかな指導をしている」 ⇒児保 肯定的回答80%以上	① 学習指導法の工夫・改善（ICT活用・少人数指導・習熟度やTT学習・かがやきルームの活用等）を図り、「分かる・できる・楽しい授業」を推進する。 ② 朝の学習の時間等において、漢字や計算の小テストやプリントを実施して、児童一人一人の理解度を把握し、個に応じた指導に努め、基礎・基本の定着を図る。 ③ 主体的・協働的な学びを通して思考力・表現力を育てるために、日常生活での指導はもちろんのこと、各教科での指導の在り方について研修を深める。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>95.9</td><td>88.1</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・すべての対象で目標値を上回った。 ・少人数指導、復習プリントの活用が、基礎基本の定着に有効であった。 【次年度の方針】 ・一人1授業の推進、教員研修の充実により教師力の向上を図るとともに、分かる授業を推進する。 ・個に応じた指導を充実させ、基礎・基本の定着を図る。		児童	保護者	地域	肯定的回答	95.9	88.1		目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	95.9	88.1												
目標値	80%以上													
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教 肯定的回答80%以上	① 学校運営上の諸事項について、会議や打合せを通して、全職員の共通理解を図り、全校体制で校務の遂行にあたる。 ② 一人一授業、要請訪問授業等の授業研究を通して、主体的・協働的な授業への改善に努め、教員の指導力の向上を図る。 児童が、「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わう」学級集団づくりを目指し、研究を推進していく。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>95</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・殆どの教職員が肯定的回答だった。 ・要請訪問や一人一授業の発表等を通し、授業の改善に全教職員で共通理解を図りながら取り組むことができた。 【次年度の方針】 ・引き続き、学校運営上の諸事項や授業の研究等について教職員が話し合う場や時間を確保していくことで、円滑なコミュニケーション、共通理解を図っていけるようにする。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	95			目標値	80%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	95													
目標値	80%以上													
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教 肯定的回答80%以上	① 「働き方改革」を教職員一人一人が意識しながら日々の業務の内容や処理の仕方を精査し、業務の効率化を図っていく。 ② 学校スタッフと連携・協力を図りながら、効率的に業務を遂行できるようにしていく。 ③ 月に2回程度、日課を工夫し、業務遂行の時間を確保していく。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>85</td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・年度当初に校内で業務改善のプロジェクトチームを組み、「働き方改革」に全教職員が意識をもって取り組んだが、今年度はコロナの影響もあって業務が多くなった教職員もおり全員の働き方改革につながらなかった。 【次年度の方針】 ・今年度の業務について全教職員で振り返り、内容や処理の仕方を精査し、引き続き業務の縮減を図っていく。 ・リフレッシュデーについて実効性のある日を設定したり日課を工夫したりしながら、業務遂行のための時間の確保を図っていく。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	85			目標値	80%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	85													
目標値	80%以上													

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 児「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」 保地「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」 ⇒児保地 肯定的回答 80%以上	① <u>あいさつ運動等の交流活動を推進し、小中教職員の連携を深めるとともに、児童の中学校入学への不安等の解消を図る。</u> ② 学力向上、心の教育、健康・体力向上等について<u>小中教職員が協働して系統的な指導を推進できるよう組織、体制を工夫していく。</u>	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>49.2</td><td>81.6</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・今年度はコロナの影響であいさつ運動等ができなくなり、児童の意識も低く目標値も低い結果となった。 ・コロナ禍で地域学校園の会議や小中の交流活動が限られた数での実施であったが、中学校の乗り入れ授業を本校で1回行うことができた。 【次年度の方針】 ・コロナの感染状況に配慮しながら、可能な範囲内でのあいさつ運動等の活動や6年生の中学校訪問等の交流を通し、児童や教職員の小中連携を図る。		児童	保護者	地域	肯定的回答	49.2	81.6	100	目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域											
肯定的回答	49.2	81.6	100											
目標値	80%以上													
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 児「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい」 教保地「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒教保地 肯定的回答 90%以上	① 地域協議会・まちづくり協議会・放課後子供教室・子供会など地域と学校との連携を進めながら、「凧揚げ大会」等の特色ある活動の充実を図る。 ② 保護者や地域企業等の協力を得ながら、八幡山公園、地域の商店や施設・寺院などで専門的、体験的な学習活動を行う。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100</td><td>82.6</td><td>93.8</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・コロナの影響で、予定していた地域の文化財を巡る校外学習や、本校の特色で出場を目標としている「うつのみや百人一首大会」等が中止となり、昨年度に比べると肯定的評価が低かった。 ・地域の商店や施設・寺院等の体験活動ができなくなった分、調べ学習や出前授業等を通して、地域や企業との連携を図ることができた。 【次年度の方針】 ・「新しい生活様式」に配慮し保護者や地域の協力を得ながら、特色ある教育活動を展開していけるよう努める。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100	82.6	93.8	目標値	90%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	100	82.6	93.8											
目標値	90%以上													
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる 【数値指標】 ※A22 で評価	① 地域協議会との連携・協力を図り、地域人材等を有効活用した学習活動の展開を推進する。 ② 「防犯パトロール隊」「民児協」「自治会」「育成会」「老人クラブ」等の各団体との連携・協力を推進する。 ③ 地域の民間企業や公共施設と連携した体験学習や専門家を活用した授業を年間計画に位置付けて実施していく。 ④ 地域人材等を活用した授業を積極的に公開し、保護者や地域に学校の取組を周知する。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100</td><td>82.6</td><td>93.8</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・教職員、地域はともに肯定的回答が目標値を上回った。 ・「防犯パトロール隊」による一斉下校は密を避けながら実施できたが、東老連による「昔遊び」や、東子連による「学校に泊まろう」等の教育活動はコロナの影響で実施できなかった。校内で可能な範囲での実施となった。 【次年度の方針】 ・可能な限りではあるが、児童にとって楽しく、豊かな体験活動が実施できるよう、地域団体や企業とともに、活動内容等を見直し実施していく。 ・引き続きミシンボランティアや作品整理ボランティア等、必要に応じて地域の人材を要請するように年間計画にも位置づけながら実施していく。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100	82.6	93.8	目標値	90%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	100	82.6	93.8											
目標値	90%以上													

A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教保地「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒ 教保地 肯定的回答 85% 以上	① 緊急避難時に備え、非常階段や防火扉周辺を整理したり、施設内の危険個所や異常個所の修理・改善に迅速に対応したりする。 ② メール配信システムを有効に活用し、児童の安全確保に努める。 ③ 日常の安全点検を通して、学校の施設・設備等の安全管理を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100</td><td>91.9</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">85%以上</td></tr></table> ・すべての項目で目標値を上回った。 ・メール配信システムを有効に活用し、児童の安全確保に努めたり、日常の安全点検を通したりして、学校の安全管理を図った。 【次年度の方針】 ・緊急避難時に備え、非常階段や防火扉周辺を整理したり、施設内の危険個所や異常個所の修理・改善に迅速に対応したりする。 ・メール配信システムを有効に活用し、児童の安全確保に努める。 ・日常の安全点検を通して、学校の施設・設備等の安全管理を図る。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100	91.9	100	目標値	85%以上		
	教職員	保護者	地域											
肯定的回答	100	91.9	100											
目標値	85%以上													
A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 ※A10 で評価	① パソコンやデジタル教材等、 I C T 機器等の整備に努めるとともに、授業研究会を通し、教職員の指導力向上を図る。 ② 学校図書館司書と連携し、学習に必要な図書を充実させる。 ③ 国語や学級活動等の学習を活用し、児童が調べ学習を行う際の学校図書館の利用方法などについて、発達の段階に応じた指導に努める。	B 【達成状況】 <table><tr><th></th><th>児童</th><th>教職員</th><th>保護者</th></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>83.2</td><td>100</td><td>80.2</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・すべての項目で目標値を達成できた。 ・学校図書館司書と連携し、学習に必要な図書を充実させた。 ・書画カメラやデジタル教材を活用した授業を、年間を通して行うことができた。 【次年度の方針】 ・パソコンやデジタル教材等、 I C T 機器等の整備に努めるとともに、授業研究会を通し、教職員の指導力向上を図る。 ・学校図書館司書と連携し、学習に必要な図書を充実させる。 ・国語や学級活動等の学習を活用し、児童が調べ学習を行う際の学校図書館の利用方法などについて、発達の段階に応じた指導に努める。		児童	教職員	保護者	肯定的回答	83.2	100	80.2	目標値	80%以上		
	児童	教職員	保護者											
肯定的回答	83.2	100	80.2											
目標値	80%以上													

本校の特色・課題等	B 1 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値指標】 児「私は、宿題を含めた家庭学習を平均すると目標時間やっている。学年×10+10分」 保「自分の子供は、宿題を含めた家庭学習を平均すると目標時間やっている。」 ⇒児保 肯定的回答80%以上	① 家庭学習にかかった時間をスタンダードダイアリー等へ記入させたり、年2回家庭学習強化週間を設定し、児童同士の情報交換の場を設けたり、自学ノートを展示したりして家庭学習の意欲付けを図る。 ② 毎月1日を東小ノーゲームデー親子学習デーに位置付け、家庭と連携して習慣づけを図る。 ③ 宿題や自学についての基本的な考え方について教職員で共通理解を図るとともに、発達段階にあった学習時間のめやすや、学習するときの約束事について年度当初に家庭に知らせ、家庭と協力体制が取れるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>68.9</td><td>69.9</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・児童・保護者共に肯定的回答が目標値を達成できなかった。 ・家庭学習の大切さを保護者にも理解してもらうため、年度当初に学級懇談資料で家庭学習についての話をしたり、年2回家庭学習週間を設けたりした。また、家庭学習カード等を活用して、児童の家庭学習の取り組みを保護者に知らせる機会を設けた。 ・家庭学習時間の減少と相反してゲームや動画視聴の時間が増加している傾向が見られた。 A 【次年度の方針】 ・家庭学習の習慣化を重点課題とし、家庭学習の推進を図るとともに、児童指導担当と連携して家庭でのゲーム時間や動画視聴の時間の見直しを図る取組を行う。 ・年度当初に家庭学習の考え方を家庭に明示したり、学級懇談で家庭学習についての情報交換を行ったりする。 ・家庭学習強化旬間を年2回設定するとともに、ノーゲームデー時に「親子学習デー」を設定し、家庭で親子一緒に学習に関わる機会を作る。 ・自学ノートを授業参観時に掲示し、児童や保護者への啓発を図る。 ・学年の発達段階に応じ、家庭学習の内容や量について見直すとともに、学級支援事務と連携して指導する。		児童	保護者	地域	肯定的回答	68.9	69.9		目標値	80%以上		
		児童	保護者	地域											
肯定的回答	68.9	69.9													
目標値	80%以上														
B 2 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 保地「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保地 肯定的回答90%以上	① 年間に3回の授業参観日、2回の土曜授業を設け、保護者だけでなく地域の方々にも、学校や児童の様子を積極的に公開する。 ② 各種たよりの定期的な発行を通して学校の現状や取組等の情報を、地域や保護者に提供していく。 ③ ホームページの更新を積極的に進め、児童のがんばる姿をすぐに保護者や地域に伝えていく。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>100</td><td>87.5</td><td>100</td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">90%以上</td></tr></table> ・コロナの影響で年に1回の授業参観、1回の土曜授業日となったが保護者、地域ともに目標値を上回った。 B ・密を避けるため、学年ごとに授業を公開したり、各種便りホームページ等を通したりしながら、積極的に学校の取組や児童の様子について情報発信してきた。 【次年度の方針】 ・引き続き、児童の様子や学校の取組についての情報発信に努めるとともに、家庭や地域のニーズの把握にも努めていく。		教職員	保護者	地域	肯定的回答	100	87.5	100	目標値	90%以上			
	教職員	保護者	地域												
肯定的回答	100	87.5	100												
目標値	90%以上														

B3 児童はめあてに向かって、 精いっぱいがんばることができる。 【数値指標】 児「私は、めあてに向かって最後まで がんばることができる。」 保「自分の子供は、めあてに向かっ て最後までがんばることができる」 ⇒児保 肯定的回答80%以上	① 教科学習や特別活動等の様々な 場面で、児童一人一人にめあてを 持たせ、指導し、それを評価させ たり称賛しあったりして、最後ま でがんばる心を育てる。 ② 校内百人一首大会・ドッジボー ル投げリレー大会・長なわ跳び大 会等の場を活用して、めあてに向 かって努力し最後までがんばる心 を育てる。 ③ 児童一人一人のがんばりを、保 護者に理解してもらえよう、各 種たより、授業参観の時やメール 等でHPを見ていただけるように 声をかけていく。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>児童</td><td>保護者</td><td>地域</td></tr><tr><td>肯定的回答</td><td>81.9</td><td>78.6</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td colspan="3">80%以上</td></tr></table> ・保護者の肯定的回答が目標値を下回って いる。 ・教科の方がめあてや達成度が目に見えて わかるが、特別活動や行事などはわかりに くい。 【次年度の方針】 ・行事前に児童がめあてを立て、保護者に めあてを見てもらう。めあてを見て、達成 できているかみる指標になる。(キャリアパ スポートなど) ・よりHPやおたよりなどで保護者に様子 を知らせていく。		児童	保護者	地域	肯定的回答	81.9	78.6		目標値	80%以上		
	児童	保護者	地域												
肯定的回答	81.9	78.6													
目標値	80%以上														

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・評価項目の多くが市の平均値を上回ることができた。日頃の家庭、地域の皆様の御協力をいただきながら、教育活動を推進してきた成果であると考えます。
- ・「A10 ICT機器や図書等を活用した学習」について、教職員が積極的に「デジタル教科書」や「まなびポケット」を意識しながら授業や学校行事に生かした結果、肯定的回答が市の平均値より大きく上回った。今後も継続していきたい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた地域の文化財を巡る校外学習や、本校の特色で出場を目標としている「うつのみや百人一首大会」等が中止となり、「A22 地域の教育力を生かした特色ある教育活動」の児童・保護者の肯定的評価が低かった。今後も新型コロナウイルス感染症の制限のかかる中でも、地域の人材や資源を生かした活動ができるよう努めていきたい。
- 「A21 小中一貫・地域学校園」についても、感染症の影響で「小中合同あいさつ運動」が実施できなかったため、中学校や中学生との関りを身近に感じていた児童の意識が極端に低い結果となった。来年度以降、コロナ禍で可能な小中連携活動について中学校とも協議中である。
- ・「B1 家庭学習」の項目では、保護者・児童の肯定的回答が目標値を下回った。本校の家庭学習時間が、市の目標時間より多いことや、個人差があることなどが影響していると思われる。今後も、学年の発達段階に応じ、家庭学習の意義や、やり方等の指導を工夫し、家庭学習の定着を図っていきたい。

7 学校関係者評価

- ・コロナ禍の社会でも、いつも笑顔で子供たちに寄り添い、ご指導いただきありがたい。肯定的回答の多い項目を伸ばせば、目標値が低い項目はいずれ上がるので、懸念することではない。とても良い学校像、教師像があると思う。地域とともに目指しましょう。応援している。
- ・コロナウイルス感染による先生方皆様のご苦労・ご尽力にただ感謝するのみ。早く世界中から「新型コロナウイルス」が消滅し、「笑顔」たくさんの「地球」に戻ることを希望する。
- ・今年度はコロナ禍の中、学校運営も大変だったと思う。子供たちが登校している学校は活気があって声が聞こえるだけでも元気が出る。評価を見たところ「A2 児童は、思いやりの心をもっている」や「A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている」に対して児童の評価が低かったのは、思いやりを感じる事が少なくなったのか、コロナ禍で人とのつながりや距離を感じているのか少し気になった。今後はこの状況が子供たちの心に影響しなければよいと思う。
- ・今年度はコロナウイルスで子供たち、学校とのかかわりが少なく意見が出せなかった。
- ・子供たちが常日頃から地域の方々への挨拶が全員大きな声でしている光景を見ている。本当に素晴らしいと思う。児童と教師の関係性も良好だと推察している。地域として学校・児童の目標に協力してコロナ禍でも頑張りたいと思う。
- ・コロナ禍で様々な活動が制限されている中、ほとんどの項目において目標値が達成されており、素晴らしい結果だと思う。ただ、否定的な意見・回答も少なからずあるので、難しいとは思いますが、なぜ否定的な意見・回答になったのかの原因を突き詰め、次年度に活かしていただければと思う。
- ・A14, A15について「いじめ」という行為や「不登校を生まない」という指導に対する子供たちの意識は、保護者や地域住民よりも高い自覚をもっているようなので、学校の活動を評価したい。さらに、それを実践するために子供たち自らがどのように考え、どのように行動するべきかをクラスごとに話し合うとよりよい成果が上がると思う。

・「A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている」について、先生方の分かりやすい授業やきめ細かい指導が成果を上げ、学力向上に結びついていることを児童自らが学び取っている。さらなる実践と成果を期待している。

○「A21 小中一貫教育・地域学校園」の取組について、東地区における「東小学校と陽北中学校」が目指す「小中一貫・地域学校園」の指針と目標が不勉強で分からない。学区の立地や環境によっても異なるため、それぞれの構想や取組を検討し、市や学校、住民の意向を調整して進めることを希望する。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・今年度は新型コロナウイルスで、幼稚園生や中学生、お年寄りとの交流活動が中止となり、人との関わりが制限された。児童の思いやり等の心の醸成にも影響があったと思われるが、今後は新しい生活様式の中で、可能な交流活動を実施しながら、児童の心の教育に全職員で取り組んでいきたい。

・教職員の指導努力により「いじめは許されない行為である」といった意識や、「不登校を生まない学級経営」について児童の肯定的評価は高かった。今後も道德教育や児童指導を通して、「いじめ」や「不登校」に関する児童の自覚意識が高まるよう努めたい。

・コロナ禍で児童はマスク着用の登下校が続き、地域の方へ大きな声を出した挨拶ができず心配されたが、年間を通して概ねできた为学校関係者の肯定的な評価を受け安堵した。マスク着用でも、日頃から笑顔で気持ちのこもった挨拶ができるよう指導していきたい。

○「小中一貫教育・地域学校園」の取組については、あいさつ運動が中止になり中学生との関わりが希薄になったり、小中連携事業が年度後半になったりした結果、児童の肯定的評価が低かった。今後は特に高学年を中心に、小中義務教育9年間を通した学習内容を児童に意識させながら、授業を展開していきたい。また、東地区における「東小学校と陽北中学校」が目指す「小中一貫・地域学校園」の指針と目標がより明確になるよう、HPや地域協議会で積極的に発信ながら、学校・保護者・地域がより一体となって小中連携が推進できるよう取り組んでいきたい。